



# 長門の話題

## Topics

### ラグビートップリーグのオープン戦が俵山で開催 迫力のプレーに大歓声

7月1日(土)、俵山スパスタジアムで、ジャパンラグビートップリーグのオープン戦「パナソニックワイルドナイツVS宗像サニックスブルー」が行われ、市内外から詰めかけた約2千人のラグビーマニアが観戦しました。試合は前半3分に先制したワイルドナイツが終始リード



▲間近で見る迫力あるプレーに大歓声を送られた

し、61対19で宗像サニックスブルーに勝利。トップレベルの迫力あるプレーに観客は大歓声を送っていました。試合前には県内のラグビースクールに通う小学生を対象にしたラグビー教室が開催され、ワイルドナイツの選手やコーチからパスやキャッチの基本を学びました。



▲約120人の児童が選手やコーチからラグビーの基本を学んだ

### ONSEN・ガストロノミーウォーキング 温泉地の魅力を全身で味わう

7月15日(土)、その土地を歩きながら、食や歴史、文化を楽しむ旅「ガストロノミーウォーキング」に温泉の要素を加え、約8kmを歩く「ガストロノミーウォーキング」が俵山地区で開催されました。約130人の参加者は温泉街をスタートし、景観や食を楽しむ9つのポイントを巡りま



▲説明を聞きながら温泉街を歩く

した。「農家縁側カフェ」と題された上政区のポイントでは、里山の風景を眺めながら、俵山産の野菜やしそジュース、仙崎かまぼこや地酒など、地区住民が提供するメニューを味わいました。ウォーキング後、参加者は温泉に浸かって癒しの時間を過ごしました。



▲「農家縁側カフェ」では新鮮な野菜を生で味わう

# 長門のPeople

## 若さと熱意で、仙崎地区を元気にしたい。

### 伊藤 貴之 さん

(仙崎青年会会長  
／仙崎新屋敷町区)



平成29年6月、仙崎地区に「仙崎青年会」が設立されました。37人の青年とともに、地域づくりの第一歩を踏み出したのが、新屋敷町区の伊藤さんです。きっかけは、昨年夏の祇園祭り。この年、みこしを担当する自治会が高齢化や人手不足で担げなくなったと聞いた伊藤さんは、地区内全域の青年たちに声をかけてみこしを担ぎ、伝統を守りました。「勢いが違い、盛り上がりがあった」住民の声を受け、達成感と使命感を覚えました。

2月には八坂神社で行われたどんど焼きでぜんざいの配布を実施。伝統行事に活気を生み出したことで手応えをつかみ、会の設立につながりました。現在は「みすゞ七夕笹まつり」に向けて笹飾りや竹を使ったアート作品の準備に汗を流しています。「地域に愛される団体として、伝統を引き継ぎ、子どもたちに楽しいまちだと思ってもらいたい」と話す伊藤さん。熱い思いを持った青年の手で、今、仙崎地区が変わろうとしています。



▲7月2日(日)、仙崎地区のクリーンウォークに参加したメンバー

# 旬な人

### 県内6校の高校生がまちの魅力をプレゼンテーション 大津緑洋高校が最優秀獲得

7月17日(月)、ルネッサなごとで開催されたシンポジウムで、県内6校の高校生が参加して、まちづくりに関するプレゼンテーションが行われました。大津緑洋高校の生徒が「I&U」と題し、新規移住者を取り込む提案を発表、見事最優秀賞を獲得しました。



▲廃校舎や空家の活用を提案

### 約20年間の海岸清掃・漂着物調査の活動が評価 日置中学校が大臣表彰受賞

毎年、二位ノ浜海岸で漂着物調査および海岸清掃活動を行っている日置中学校が環境大臣表彰を受賞し、6月20日(火)、校長と生徒代表が市役所を訪れ、大西市長に受賞報告を行いました。多年にわたり、地球環境美化のため環境保全に取り組んだ功績がこのたび認められたものです。



▲受賞報告を行った日置中学校の生徒代表